申告書裏面「収支内訳書」の書き方

事業所得(営業等・農業)や不動産所得は、「総収入金額」から、収入を得るために要した費用である「必要経費」を引いて算出します。収支内訳書の各科目については次のとおりです。科目ごとに金額を計算し、収支内訳書へ記入してください。

〇記入例

令和5年分 収支内訳書 (自営業などで収入所得のあった人	(は記入してください)	
住 所有田市箕島50番地	フリガナ 氏 名	有田 太郎
事業所有田市箕島50番地	電話番号 07:	37-83-××××
771 111 78	工利辛 加入	
所得の種類 □ 一般 □ 農業 □	不動産団体名	
業 種 名 みかん農業 屋 号		
		〇給料賃金の内訳※有田市の方に給料賃金を支払った場合は、給与支払報告書をご提出がださい
	科 目 金 額	氏 名 住 所 生年月日 給与賃金 源泉の有無 税務 三郎 辻堂○→× № № 32 45 月25 日 50,000円 無
100,000,1	旅費交通費= 10,000円	九分 二中 足主
入家事消費②	通信費水	
金 雑 収 入 ③	広告宣伝費へ	
額 計 ① + ② + ③ ④ 700,000円	接待交際費ト	給料賃金の合計 ⑪ 50,000円
期首商品(製品)棚卸高 ⑤ 経		氏 名 穀柄 生 年 月 日 給与額(控除額) 区分 明・大 明・ 大 田・ マー ローロー 日配 明・ マー ローロー 日配 明・ マー ローロー ローロー ローロー ローロー ローロー ローロー ローロー
上仕入金額⑥		昭・平 年 月 日 2 他専 個人委員 2 他専
小計 S + 6 ⑦	消 耗 品 費 ヌ 20,000円	事 氏 名 統柄 生 年 月 日 給与額(控除額) 区分
期末商品(製品)棚卸高 ⑧ 他	祖利厚生費ル	T
差引原価⑦一⑧ ⑨	肥料費 す 50,000円	者 氏 名 統柄 生 年 月 日 給与額(控除額) 区分
差引金額④-⑨⑩ 700,000円	農薬衛生費 ヮ 150,000円	明·大 昭·干 年 月 日 2 他専
給 料 賃 金 ⑪ 50,000円 費	カ カ	個人番号 従事月数
外 注 工 賃 ②	9	○不動産所得の収入の内訳 区分 不動産の所在地 賃貸人の住所・氏名 貸付面積 賃貸料(年額)
経 減 価 償 却 費 ③ 240,000円	9	□貸家 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
貸倒金組	雑費レ	□貸地 □貸家
地 代 家 賃 ⑮	小 計 (イ~レの計)	□貨地
利子割引料临	圣費計(⑪~⑯)+⑰⑱ 520,000円	□貨家 □ 資地
費 そ 租 税 公 課 イ 専従者	者控除前の所得金額 (⑩-⑱) ⑲ 180,000円	□貸家
他荷造運賃口専	従者控除20	□貸地 □貸家
程 費 水 道 光 熱 費 ハ 所 後	得金額(⑩-⑳)② 180.000円	□資地
	1 2 11 (2) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	不動産所得の収入の合計①
○減価償却費の計算 ** 無 炒 却 ※ ※ ※ ※ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *		(a) (b) (f) (0) (5)
減価 (基 礎 償却 耐用 (資却率又は 年 中 の) 普通償却費 (②× ◇・× ○	→ 本年分の (乗却費合計 (重) (重) (重) (重) (重) (重) (重) (重) (重) (重)
年月 000 000 円	円 年 19月	円 円 8 円 円
軽自動車 1台 R4年3月 (900,000) 960,00	00 c m k	0 0 240,000 100 240,000 520,000
	12	
	12	
	240,000	0 0 240,000 / 240,000 520,000

○収入金額について

科目				説明			
売」	上(収入)	金額	①	本年中の売上(収入)金額を記入します。 なお、掛け売りなどのように、まだ実際に代金を受け取っていない売上げでも本 年中に売り上げたものは、全て本年分の収入金額になります。			
家	事消	費	2	商品などを家事のために消費したり、贈与した場合に通常の販売価額を記入します。ただし、販売価額のおおむね70%の金額と仕入金額のいずれか多い方の金額を記帳している場合は、その金額を収入金額とすることができます。			
雑	収	入	3	空箱の売却代金やリベートなどの収入を記入します。農業の場合は受取共済金、 出荷奨励金、野菜・鶏卵などの価格差補塡金、農作業受託料、事業分量分配金な どの金額を記入します。			

※不動産収入がある場合は「○不動産所得の収入の内訳」欄へ不動産の所在地等を記入してください。

○必要経費について

- ・総収入金額に対応する売上原価や、総収入金額を得るために要した費用が必要経費となります。
- ・家事上の費用は必要経費にはなりません。
- ・家事上の費用と事業分の費用が混在する場合において、店舗部分の地代家賃や火災保険料、固定資産税、修繕費、事業のために使った電気料などを経費計上する場合は、使用面積や保険金額、点灯時間などの適切な基準によりあん分して計算した値を経費としてください。

具体的な経費の科目は裏面をご覧ください。

○必要経費の科目種類および具体例

	科目							説明	
			期i	首商	品(製品	品)棚卸高	⑤	本年1月1日現在の商品などの棚卸高を記入します。	
売 上			期を	末商 ₁	品(製品	品)棚卸高	8	本年12月31日現在の商品などの棚卸高を記入します。	
	上原	有個	5					本年中の商品などの仕入金額を記入します。なお、本年中の掛	
	(営業等の方)				仕入金	額	6	け買いなどによる仕入れで、まだ代金を支払っていないものも	
								含まれます。	
			Γį	期首i	商品 (製				
			科目			説明・具体例			
						従業員の給	料、1	賃金、退職金、食費や被服などの現物給与(専従者控除分は含	
44	쑈		任	金 ①	\bigcirc	みません)			
給	料		賃		(1)	※「〇給料	賃金の	の内訳」欄に給料支払相手の氏名、住所、生年月日、給料賃金	
						額(現物絲	合与額	[分を含む)等を必ず記入してください。	
лl	· 注		_	任	<u> </u>	修理加工な	どでタ	外部に注文して支払った場合の加工賃など	
外	注		エ	賃	(2)	※建設業な	どを言	営んでいる方の外注費も含まれます。	
						建物、機械	、船舶	h、車両、器具備品などの償却費	
						(耐用年数	1年』	以上、取得価格IO万円以上のもの)	
減	価	償	却	費	(3)			の計算」欄へ必要事項を記入し、本年分の経費算入額を計算し	
								記入方法については税務署発行の「収支内訳書の書き方」をご	
						参照くださ	، ۱۰		
貸		倒		金	(4)	売掛金、受取手形、貸付金などの貸倒損失			
地	代		家	賃	(5)	店舗、工場、倉庫等の敷地の地代や店舗、工場、倉庫等を借りている場合			
[賃など									
利	子	割	引	料	(6)	事業用資金の借入金の利子や受取手形の割引料など			
					(1)			税、固定資産税、事業税、不動産取得税、登録免許税、印紙税などの税金	
租	税		公	課				工会、協同組合、同業者組合、商店会などの会費や組合費	
				,				同組合費などの公課	
荷	造		運	賃	(<u>1</u>)	販売商品の包装材料費、荷造りのための賃金、運賃			
水	道			費	\bigcirc	水道料、電気料、ガス代、プロパンガスや灯油などの購入費			
旅	貫		通	費	9	電車賃、バス代、タクシー代、宿泊代 電話料、切手代、電報料			
通		信		費				9.11.1	
_	41-		,_	伝 費	\odot	-		どの広告費用、チラシ、折込み広告の費用、②広告用名入り	
ム	告	亘	厷			i .		ダー、手ぬぐいなどの費用、③ショーウインドーの陳列装飾の	
						ための費用			
接	待	交	際	費	\bigcirc	_		妾待する茶菓飲食代、②取引先などを旅行、観劇などに招待す	
扫	+	10	17个	业	<i>a</i>			たなどに対する中元、歳暮の費用 はまった。	
損	舌	体	険	<u>种</u> 費	<u> </u>			動車の損害保険料 ************************************	
修		괨		貝				機械、器具備品などの修理代 用紙、包装紙、ガソリンなどの消耗品購入費、②使用可能期	
消	耗		品	費	\bigcirc	-		用紙、包装紙、ガグリンなどの消耗品購入員、②使用可能期	
\vdash								1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
귣	4 ıl	厚	4	弗	(I)			医療、衛生、保健などのために事業主が支出した費用(要件及	
油	ጥ ሀ		土	貝			-	がある場合があります)、②事業主が負担すべき従業員の健康保 雇用保険などの保険料や掛金	
雑				費				世の経費に当てはまらない経費	
木田				貝	\bigcirc	尹耒上の買	m (1	世の柱貝にヨしはまりない栓貝	

・農業特有の経費

収支内訳書様式にはあらかじめ科目名を記載していませんので、必要に応じて「ヲ」〜「タ」欄へ追記してください。

		科目			説明・具体例
種		苗		費	種もみ、苗類、種いもなどの購入費用(自給分は収穫した時の価額によって記入します)
肥		料		費	肥料の購入費用
農	薬	衛	生	費	農薬の購入費用や共同防除費

・専従者控除について

あなたと生計を一にしている配偶者やI5歳以上の親族が本年中に6か月を超える期間、事業に専ら従事している場合、その事業に従事している親族(事業専従者) I 人につき、次の(I)と(2)のいずれか少ない方の金額を必要経費にすることができます。

- (I) 860,000円 (その事業専従者が配偶者以外の親族である場合は、500,000円)
- (2)(収支内訳書の®の金額)÷(事業専従者数+ I)

収支内訳書右側にある「事業専従者」欄へ専従者の氏名等を記入のうえ、「専従者控除②」へ控除額を記入してください。